



道徳教育は、教育活動全体を通じて行います。

学校における道徳教育は、道徳の授業を要として学校の教育活動全体を通じて行うものです。6月は、各学年、旅行的行事が行われました。この行事は、特別活動に位置付けられており、人間関係の形成や協力、責任、公德心等の道徳的価値感について学びました。道徳教育を推進する上で、子供たちの豊かな体験活動の充実は不可欠です。本校では、職場体験をはじめとして様々な体験活動を実施します。今年度は、人権教育の一つとして「赤ちゃんふれあい体験」、幼稚園での「保育体験実習」、東京オリンピックに向けての「オリンピック教室」、戦争体験者の話を聴く「平和講演会」、そして生徒会活動としての感謝の集い等を行っていきます。様々な体験は、生きる力となります。ご家庭でも夏休み等を利用して、色々なことにチャレンジする機会を与えて頂けると幸いです。



6月の各学年の実践

1学年は、遵法精神 2学年は、集団生活の向上 生命尊重
3学年は、伝統・文化の創造について学びます。

【1学年の実践】

資料名《クワガタとタケノコ》

- ・いけないことはいけないし、どんな理由であろうと決まりは守らなきゃいけないと思います。私も人生の中ですごく大変なことがあるかもしれないけど、決まりは守る人間でいたいです。
- ・やっぱり法律などのルールは、みんなが幸せに暮らすための最低限のせい約だと思うので、どんな状況のときも、守らなくてはいけないんだろうなと感じました。

【2学年の実践】

資料名《遠足》

内容：個の尊重と集団の秩序の調和について、
宿泊学習をイメージして考えた。

生徒の感想

「個人の思いも大切だけれど、班が1つに
まとまって時間を守ることが優先かなと思った。」

《ハゲワシと少女》

内容：ケビン・カーター氏の写真をもとにかけがえのない生命について考えた。

生徒の感想

「写真を見て命の重さを感じた。彼の行動が正しいかどうかは正直難しいけれど、この写真で多くの人が助かってほしい。」

【3学年の実践】

資料名《嵐の中の三重の塔》

- ・「温故知新」という言葉があるように、昔の教えを忘れてはいけないと思いました。
- ・自分は「最小の効果のために最大の努力を惜しまない」ことはできていないので、受験に向けてもコツコツ努力をできる人になりたいと思いました。
- ・自分とは反対の意見もあったけれど、理由を聞いて納得できたし、自分の意見もしっかり伝えられた。
- ・新しいことに進むときは、自分たちが先人となって後に次ぐことが求められていると思う。